

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[インストール](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Avaya Definity G3 コール センターとインターフェイス接続するために Cisco Intelligent Contact Management (ICM) ペリフェラル ゲートウェイ (PG) をセットアップするための手順について説明します。

注この資料は Definity ECS ACD にだけ適当ですエキスパート エージェント セレクションで実行するか。 ディストリビューション (EAS-PHD) モードを処理するプリファレンス。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco ICM 機能および設定
- Avaya Definity G3 機能および設定

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- すべての Cisco ICM バージョン
- Call Visor LAN (CVLAN) サーバソフトウェア 6.x またはそれ以降

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。 このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。 ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

インストール

Cisco ICM PG を Avaya Definity G3 コールセンターとインターフェイス接続するためにインストールするためにこれらのステップを完了して下さい:

1. **YES** にイベントの最小化のための CVLAN/MAPD インターフェイスを設定して下さい。
2. **3.**に CVLAN/MAPD インターフェイス Terminal End-Point Identifier (TEI) 値を設定して下さい。
3. アクティブアソシエーションを規定して下さい。有効値は 2048、4096、および 8192 です。Avaya からのだけこの設定を修正できそうするために、CVLanサーバのためのコードをリコンパイルして下さい。Avaya のアソシエーションの数を設定したら、PG がこの数と一致するようにして下さい。
4. 周辺装置ターゲットですべてのベクトル ディレクトリ番号 (VDNs) を設定して下さい。
5. **skillnum** 引数を含めば Call Management System (CMS) skillgroups のすべての監視された skillgroup ID は報告します。

Cisco ICM PG を不適当に設定する場合レポートおよびルーティングにおける多数の問題に直面できます。そのような問題に直面する場合、Ciscoアプリケーション 技術グループ (ATG) テクニカル アシスタンス センタ (TAC) を呼出し、資料 "GED95 のコピーを- ICR システムマネージャ ガイドの 補足" 請求して下さい。

[関連情報](#)

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)